

# 手術の選択よく相談を

一覽表には、代表的な腰の病気である椎間板ヘルニアや脊柱管狭窄症について、2016年に手術を受けた患者数を載せた。

また、手術のうち、体の負担が少ない「低侵襲手術」を受けた患者数も明示した。低侵襲手術は、内視鏡や顕微鏡を使うことで、皮膚を

切り開く傷口が通常よりも小さい2〜3センチで済む手術だ。術後の痛みが軽かったり、術後の回復が早いことで入院期間が短くなったり

するなどの長所がある。ただ低侵襲手術は、手術の難易度は高くなる。日本整形外科学会は、内視鏡を使った脊椎手術については技術認定医を公表しており、ホームページで確認できる。

腰痛治療で注意したいのは、必ずしも手術が最良の

治療とは限らない点だ。椎間板ヘルニアは、手術をしなくても1年後には9割以上が回復するとの研究報告もある。また、脊柱管狭窄症の手術では、痛みは改善しても、しびれが残る場合もある。手術が必要かどうかは医師によく相談する必要がある。

## 病院の実力「腰痛」

医療機関別2016年治療実績

(読売新聞調べ)

医療機関名	①腰部脊柱管狭窄症の手術(人)	①のうち低侵襲手術(人)	②腰椎椎間板ヘルニアの手術(人)	②のうち低侵襲手術(人)
<b>兵庫県</b>				
あんしんク	330	330	106	106
北須磨	177	85	53	53
関西労災	171	0	26	0
国・神戸医療セ	154	1	19	15
県立尼崎総合医療セ	135	43	40	24
ぎょう整形外科・神経外科ク	129	129	115	115
姫路赤十字	108	0	26	0
県立加古川医療セ※	99	57	57	57
市立伊丹	98	0	18	0
神戸赤十字	88	1	20	11
宝塚市立	76	40	11	9
兵庫医大	64	2	10	10
神戸市立西市民	61	61	12	12
姫路聖マリア	49	2	12	5
県立淡路医療セ	35	0	8	1
県立リハビリ中央	33	0	7	0
神戸大	27	2	5	2
<b>大西脳神経外科</b>	<b>26</b>	<b>26</b>	<b>25</b>	<b>25</b>
神鋼記念	26	26	6	6
<b>大阪府</b>				
関西医大総合医療セ	389	0	33	2
関西電力	312	312	32	32
地・大阪	282	2	18	13
交野	205	100	47	47
大阪労災	171	7	29	12
大阪市大	159	114	10	10
大阪鉄道	147	58	48	45
大阪警察	144	34	25	16
大阪市立総合医療セ	139	139	31	31
国・大阪医療セ	138	5	16	4

「国・」は国立病院機構、「地・」は地域医療機能推進機構、「セ」はセンター、「ク」はクリニック、「リハビリ」はリハビリテーション。※「県立加古川医療セ」は、整形外科のみの実績。

\*全国の調査結果は「くらし健康・医療面」に掲載しています。